®は登録商標

使用者の声

「総合殺菌剤 フロンサイドSC」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介いたします。

総合殺菌剤
石原 フロンサイド® SC

【ブロッコリー】熊本県 宮田さん

根こぶ病を出さないことが、産地と生産者の生活を守る。八代のブロッコリー作りを支える剤。

熊本県八代市では、い草からの転作作物としてブロッコリーの作付面積が年々増加しており、今では県内最大の産地となっています。その生産を一手に担っているのが、部会員166名が所属するJAやつしろブロッコリー部会です。部会長を務めて3年目になる宮田さんは、「他産地に負けないくらい品質の良いブロッコリーを作り、消費者の皆さんに安全安心なブロッコリーを届けたい」と意気込みます。

根こぶ病による収益減を避けるため、薬剤選びではコストより効果を優先。

そんな宮田さんがブロッコリー栽培において最も警戒している病害が根こぶ病です。「根こぶ病は発病してしまったら収穫できなくなり収益が減るので、生活にものすごく影響を及ぼす病害です。だからどうしても最初から抑えておきたいんですよね」。過去に根こぶ病の被害を受けた際に、JA営農指導員に相談して使い始めたのがフロンサイドSCでした。「定植前に全面土壌混和処理し、畝づくりをしたうえでブロッコリーを定植しています。使い始めてから10年ほどになります。根こぶ病は徐々に減ってきて、今ではほとんど出ていません。やはりそれだけ効果があるのだと思います」と確かな効果を実感しています。さらに、「コストは少しかかりますが、収益確保のほうがもっと大事なので使います。使っていないと心配ですね」と話すほど、予防薬剤としてのフロンサイドSCの存在感は大きくなっているようです。





部会員の多くがフロンサイドSCを愛用。実力を信じて今後も使い続ける。

もしも根こぶ病が自身の圃場で発生してしまうと周囲へ広がる可能性もあるため、「他の生産者に迷惑をかけないためにも、最初から抑えることが大事」と強調します。その考えは産地全体の共通認識としてあり、フロンサイドSCの使用率は非常に高いそうです。「みんな根こぶ病を抑えたいという意識があるから、フロンサイドSCを使っていますよ。これがなかったら今の八代のブロッコリーは無いんじゃないでしょうか」。

最後に、「根こぶ病防除では今のところフロンサイドSCが一番効き目があると思います。今後もフロンサイドSCを信じて使い続けたいです」と力を込めて教えてくれた宮田さん。フロンサイドSCは根こぶ病防除の頼れる相棒として、八代のブロッコリー栽培を支え続けてまいります。

※取材時（2025年11月）における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

ISK Local Insight, Global Impact

石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

"使用者の声"はwebでもご覧いただけます